

関東甲信越支部長活動報告

2010年8月



支部長 上浪 寛

支部執行部からのメッセージ

今月は全国各支部で会員集会が開催されました。テーマは①法人形態の選択、②会費改定についてです。本部執行部ではこれら2件の問題を9月の臨時理事会で決議し、10月のJIA九州大会時の臨時総会で会員の皆様の承認を得たいと考えています。8月7日の東海支部を皮切りに24日の関東甲信越支部まで9支部の会員集会が開かれ、本部からの報告並びに意見交換会が行われました。(近畿支部は会員集会を開催せず、9月2日の支部役員会で本部委員を迎え、意見交換する予定です。)支部毎の参加者によるアンケートの集計も行い、8月27日の本部理事会では長い時間を掛けて協議を行い、9月理事会では審議・決議をする予定です。10月7~9日に北九州小倉を会場とするJIA大会が開かれます。関東甲信越支部では、JIA九州大会参加登録をし、関東甲信越支部主催職能シンポジウムに参加しCPD単位を取得された支部会員の皆様を対象に、1人1万円までを上限として(総額上限100万円)補助することを支部常任幹事会の総意で決議いたしました。10月9日には関東甲信越支部主催連続職能シンポジウム、並びに滅多に人前で話すことがない谷口吉生氏の講演があります。28日前(9/8頃)までに予約すれば飛行機運賃が約半額で済みますので早く航空券を予約して、大量に用意される河豚を肴に、ぜひ大勢で全国の会員と懇親しましょう。

支部長活動報告

- 2日 定款改定WGが開かれる。8月9日の東海支部を皮切りに会員集会が全国で開かれる。法人形態説明にWGのメンバーで手分けして行くこととする。
- 3日 アーキテクト・ガーデン実行委員会コア会議を開く。チラシデザイナーの選定、会場のレイアウト等が協議される。2011年UIA東京大会に向けた新しい企画として建築家グッズオークション(今後A.G建築祭以外の対応も検討中)を予定することにした。この企画の目的は、来年に迫ったUIA東京大会への参加意識を高めることと、上がった収益をUIA大会準備活動の資金としてJOBに寄付することだ。
- 4日 UIA大会支部推進委員会が開かれる。連続シンポジウムの報告並びに次回

- 企画についての説明を行い、JOB から小倉会長、日野事務局長が参加され、財務情報、スケジュール情報等について質疑応答が活発に交わされた。
- 5日 JOB 部会長会議に参加する。芦原会長が出席され、JIA としてやらなければいけないこと、JIA としてやりたいことを明確にし、個別ではなくパッケージとして JOB と折衝したい、と話された。
- 9日 資格制度委員会が開かれる。昨年秋の臨時総会で決議された登録建築家オープン化の経過を踏まえて様々な意見が出された。特に資格要件に関する芸術性、独立性については、次回委員会までに各支部実務委員会で意見集約をして持ち寄ることとした。
- 18日 建築会館で復興小学校中央区立明石小学校の保存問題に関して3会合同（建築学会佐藤会長、東京建築士会三井所会長、日本建築家協会関東甲信越支部長上浪）による共同記者会見を行った。NHK-TV 初め、放送局、新聞各社が詰めかけ、1時間半に渡る記者会見を行った。明石小学校は復興小学校の中でも最も古く、その後の小学校建築の典型となる貴重な文化資産であることを強くアピールした。その後の経過はNHK-TV を主体としたTV、新聞各社により毎日のように報道されることになる。
- 19日 四国で会員集會が開催され、本部組織再編諮問会議委員として法人形態について話す。2つのテーマについて説明の後、約1時間の質疑応答を経て、法人形態についてはかなりの人の不安が除かれた印象を持った。
- 20日 伊平前支部長と共に、衆議院議員会館に馬淵国交省副大臣秘書を訪ねる。JIA 九州大会で開催される関東甲信越支部主催職能シンポジウムにパネリストとしてご出席いただくことを正式に快諾していただく。
- 23日 JIA 国際交流基金運用委員会に赤堀国際委員長の代理で出席する。基金の基盤を強化するため、2011年UIA 東京大会後の2012年からは運用益の1/3を基金に充当することを新しい規定として定める。運用益の2/3の運用を国際委員会に委ね、国際委員会は活発な活動と、UIA 大会後の新しい視点を策定することが期待されている。
- 24日 関東甲信越支部の会員集會が開催される。会費改定についての説明後、会員からの意見では、赤字が出た理由を歴代の会長が総括すべき、今後黒字化していく成算があるのか、等の活発な意見が出された。法人形態については委員会からの説明後に質問が出ず、更に詳細な説明をして終えた。
- 25日 定款改定WGが開かれる。今まで開催された9支部の会員集會の様子がそれぞれの委員から話され、共通して持たれている疑問点の整理が行われ、次回理事会への対応などが話し合われた。
- 26日 全国支部長会議並びに懇親会が開かれる。支部長会議では27日の理事会を前に会費改定、法人形態のテーマについて意見交換が行われた。また

- 27日 27日午前に開催されるUIA大会本部推進委員会についての事前打ち合わせも行われた。
- 27日 午前中にUIA大会本部推進委員会が開催される。本部推進委員会委員として全国支部長に加え、支部推進委員会の委員長を委員とする事に決める。大会プログラムと同時に大会開催自体が建築家のためになること、また地方支部にとっては、UIA大会開催で地域が変わるというメッセージが重要で、支部毎のネットワークが不可欠であることが確認された。関東甲信越支部で連続開催している職能シンポジウムをきっかけに今後各支部でキャラバンを組むこと、大会では「2050年の建築家」をテーマにJIAを中心に建築家宣言を出し、それについて国際シンポジウムを開催することが確認された。午後は本部理事会が開催される。本部財政が非常に逼迫していることが各方面に影響している。機関紙「建築家」の発行が9月15日発刊号を最後に、今までの体制(外注)の発刊を休止せざるを得ない事が発表された。今後は委員会での内製化を模索することになる。
- 31日 支部実務委員会が開催される。本部資格制度委員会で議論となったオープン化の資格要件である「芸術性」「独立性」について、支部委員会のまとめを行う。

支部長活動報告 2010年8月

2010年8月31日作成 上浪 寛



JIA九州大会は下をクリック

<http://www.jia2010.org/index.html>

UIA
2011
TOKYO DESIGN
2050

September 25 - October 1, 2011